

# 高い志を 胸に 大きな成長の 始まり

静岡県立小山高等学校

令和5年4月17日(月)発行

小山高校への御入学おめでとうございます！



自らの将来を切り拓く「勝負」の3年間。決意を新たに、真剣な顔つきの小山高校入学生。

## 116名が高い志を胸に小山高入学

コロナ、戦争、災害、環境問題・・・困難に対峙する力の育成

社会の変革に適応  
した新たな学力の  
育成

小山高校は、昭和60年(1985年)に開校した高校です。本年度から、「前に踏み出す力」「チームで活動する力」「考え抜く力」の3つをグラデュエーション・ポリシー(G.P.)として設定し、学校生活のあらゆる場面でこの3つのスクール・ポリシーを意識して教育・学習活動に取り組むこととしました。3年後、みなさんは、この3つの大きな力を身に付けて社会の中で自立していくこととなります。

2023年の今日、世界は大きな変革の時期にあります。コロナ・ウィルスは、2019年から世界中に大きな脅威を与えました。学校現場でも、マスクの着用や休業、教育活動の制限など大きな変化がありました。旅行業者や飲食業者の苦しい経営は連日ニュースにもなり、世界の流通が滞り日本の工業生産にも大きなダメージがありました。しかし、その中で、マスク業界は生産体制を強化し、製薬会社もワクチン開発に資本を結集させ、医療技術を発展させてきました。また、在宅ワークが一般化し、遠隔通信システムも大きな発展をしました。今では、コロナ以前以上に、国境を超えて世界中の人々とコミュニケーションを取ることができるようになりました。

つまり、コロナ禍は、この世界に「マイナス」の側面だけをもたらしたのではなく、その制約された社会の中から新しい価値を生み出そうとする人々によって、「プラス」の側面も生み出したのです。コロナ禍を嘆くだけでなく、「前に踏み出す力」を持つ人々は、唯一の絶対的な正解のない課題に対して「チームで活動する力」を用いて様々な知を結集させ、「考え抜く力」によって事態の打開に努めました。今、みなさんに求められているのは、こうした力なのです。

みなさんは、今スタートラインに立っています。変革する社会で活躍することを見据え「前に踏み出し」、新しい仲間と「チームで活動し」、そして困難な課題から逃げることなく粘り強く「考え抜く」ことを、小山高校で経験しましょう。小山高校には、みなさんを大きく成長させる学習経験が多く設定されています。これからの3年間、様々な学習経験を通じて、みなさんは変わっていくのです。3年前の自分を思い出してください。きっと、今とは全く違う自分だと思っています。同じように、3年後の自分は、今とは全く違う自分です。小山高校の生活の始まりです。

チームで活動する力 考え抜く力



前に踏み出す力

## 「耳と目と心で聴く」

今年1年間の学年目標は「耳と目と心で聴く」です。「耳で聴く」は情報を正確に理解する力、「目で聴く」は情報発信者の表情を見て文脈を読み取る（いわゆる「空気を読む」）力、そして「心で聴く」は、耳と目で聴いたことを自分で一度考え、自らのものにしていくことを表します。小山高校での生活は、中学までの生活とは違う部分も多々あります。教員や先輩たちの話を「耳と目と心で聴く」ことにより、皆さんは中学生から高校生になっていきます。まずは、先生方、そして先輩たちの話を丁寧に「聴く」ことから高校生活を始めていきましょう。

高校は様々な中学校から生徒が集まってくるため、当初は人間関係についてもお互いに気遣うことが大切です。相手の発言の真意は何であるのか、耳と目と心で聴くことが今まで以上に求められます。また、皆さんの中には、LINEなどのSNSでつながっている人間関係もあると思います。そうした、相手の顔を見ることのできない「間接的な」人間関係は、「聴く」ことが非常に難しくなります。というのも、その情報が本当に正しいのかどうか、相手はどのような気持ちで言葉を発しているのか、全くわからないからです。これほど怖いことはありません。皆さんがSNSなどを利用しようと考えているのであれば、直接顔を合わせて会話をするとき以上に、慎重に「聴く」ことが必要になってきます。

こうした、SNSなどによるトラブルは年々増加しています。こういった問題は、学校の外で行われることが多いため、学校の教育力だけでは十分に対応できません。保護者の皆様には、お子様との対話の時間を毎日少しでもよいので取っていただきたいと入学式でお願いしました。お子様が何を考えているのか、何を楽しみにし、何を不安に感じているのか、ご家庭の中で想いを共有する時間をつくっていただきたい。その点でも、ご家族の意見を「聴く」ことが大切です。

いろいろな人の意見を「聴く」ことができるようになると、自分だけでは気づくことのできなかつたことが、わかるようになります。そして、それは自分自身の言動や考え方を振り返るきっかけになります。いろいろな人たちとの対話の中で、自分のことがよく理解できるようになり、そして自分自身をよりよくしていくことができるのです。

みなさんは、大きな可能性にあふれています。まずは、自分を知るため、他者を知るため、そして社会を知るために「耳と目と心で聴く」。ここから始めてみましょう。

(1 学年主任 美那川 雄一)

### 1 年生 「耳と目と心で聴く」

教員・保護者・先輩・友人との対話力

自分の姿を自分自身で振り返る省察力

### 2 年生 「全体を観る眼」

自分の事だけでなく、学校全体の事を考える

今だけでなく、将来のことを考える

### 3 年生 「自律と自立」

目標に向かって自分の言動や心を律する

社会に貢献する主体性ある市民として自立

